



都市・地域開発

鉄道と駅周辺を一体で開発し相乗効果を図る

インド ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道駅周辺開発支援プロジェクト

加速する高速鉄道建設を踏まえ協力を開始

近い将来、世界最多の人口となることが予想されているインドは、堅調な経済を牽引する西部の大都市を高速鉄道で結ぶことで、高まる旅客需要に応え、さらなる経済成長を目指しています。

JICAは、インド第二の都市ムンバイと国内有数の工業都市アーメダバード間の約500kmをおよそ2時間で結ぶインド初の高速鉄道の開業に協力。2016年に詳細設計を開始し、20年から鉄道本体の建設が始まりました。並行して、安全な定時運行の実現に向けた人材育成も行っています。

他方、高速鉄道の利便性と経済効果を高めるには、駅へのアクセスや他の公共交通への乗り換え、周辺の商業施設やオフィスへのアクセスなど、駅を中心とした街づくりを計画的に進める必要があります。そこでJICAは、2023年2月から駅周辺の開発に協力するプロジェクトを開始しました。

日本の経験・知見に高い期待

この高速鉄道路線には12の駅が建設される予定です。今回のプロジェクトは、そのうちの4駅をモデル駅として駅周辺開発計画を策定し、高速鉄道と駅周辺開発との相乗効果を図るものです。

まずモデルとなる4駅の立地や周辺の開発状況を踏まえて特性と課題を分析し、それぞれの条件に応じた開発計画づくりを進める予定です。また、

セミナーや日本での研修などを通じて関係者の駅周辺開発に関する知識を深めるとともに、インド政府が掲げる高速鉄道の全国的な整備構想を踏まえ、日本のほか複数の国の開発事例をまとめたハンドブックも作成することになっています。

日本はこれまで、鉄道の整備を駅周辺開発と併せて進めることで相乗効果を生み出し、乗客の利便性の向上や周辺地域の経済発展につなげてきました。さらに近年、環境負荷の軽減といった観点から、公共交通指向型の開発*を進めてきました。そうした日本の経験と知見を生かした協力の、インド政府からは高い期待が寄せられています。

*鉄道駅などの公共交通拠点の周辺に都市機能を集積し、自家用車に依存しないコンパクトな都市開発を目指す取り組みのこと。

VOICE

プロジェクトは私たちの誇りです

インド住宅都市省
次官補
D タラさん



日本の駅周辺開発と公共交通指向型開発は非常に興味深いものです。高速鉄道と一体化した地域開発の効果は直接的にも間接的にも大きく、経済の活性化や快適な都市環境だけでなく、雇用創出も期待できます。インド政府最重要プロジェクトに貢献できることは関係者すべての誇りです。

地域全体の経済成長を意識しています

JICA専門家
日本コンサルタンツ株式会社
秋村成一郎さん



高速鉄道の駅周辺開発は、地域全体の経済成長、環境改善に大きく貢献することが期待されています。駅周辺地区にとどまらず、地域産業振興、通勤・通学利用などより広い範囲の社会経済活動と連携していくことで、事業効果が十分に広がるよう、取り組んでいきたいと思っております。



建設が進むプロジェクトサイトの一つであるスーラット駅